

### 5 学協会の査読付論文にみる温泉地のまちづくりに関する既往研究調査

日本大学 正会員 ○西山 孝樹  
日本大学 正会員 天野 光一

#### 1. はじめに

わが国最古の正史である『日本書紀』，舒明天皇3(631)年の記述をみると，「幸于津國有間温湯」とあり，古代から温泉へ訪れる習慣が存在していたと考えられる。

しかしながら，歴史が積み重なった温泉地であっても，今日では食事や土産の購入等が一施設内で完結する大規模な旅館やホテルが多い。そのため，足元にひろがる温泉街が疲弊している問題が全国各所で散見される。

そこで本稿では，わが国の温泉地におけるまちづくりの研究動向を掴み，今後の研究活動を実施していくための基礎情報を得る事を目的とした。

#### 2. 研究方法

過去30年(1985年～2015年)の間で発表された5学協会の査読付論文で，題目に「温泉」が含まれているものを研究分野とその内容(表-1)で分類整理した。

表-1 本稿で調査した査読付論文の研究分野とその内容

項目	研究内容	項目	研究内容	項目	研究内容
A	形成(発達)過程	B	盛衰史	C	類型化
D	現状把握	E	利用実態	F	行動形態

#### 3. 研究結果

表-2で示した論文集のなかで，「温泉」が題目に含まれるものとして43本が掲載されており，それらを対象として既往研究の調査を行った<sup>(1)~(6)</sup>。なお，土木学会論文集には，「温泉」が含まれる論文は存在しなかった。

表-2 本稿で対象とした査読付論文集一覧

学会名	査読付論文集	掲載数
日本観光研究学会	『観光研究』	6
日本国際観光学会	『日本国際観光論文集』	4
日本都市計画学会	『一般研究論文』	4
	『学術研究発表会論文』	8
日本建築学会	『日本建築学会計画系論文集』	10
日本造園学会	『ランドスケープ研究』『造園雑誌』	11
土木学会	『土木計画学論文集』	0
合計		43

##### (1) 日本観光研究学会が発行する査読付論文の調査

本査読付論文では，研究対象が多岐にわたる。メディアによる旅館イメージの変遷や旅行前，道中，到着後で旅行の動機を促進させる情報流通が異なっていたことを明らかにした論文がみられた(表-3, No.4,6)。

表-3, No.3の論文では，日帰り温泉地に関して，情報誌を基にそのブームを社会背景と共に明らかにした。

その他にも，唾液中に含まれるストレス物質の変化量が

ら，温泉地における長期滞在の有用性が示された論文も掲載された。温泉客の精神面の変化を人間工学の観点から述べられた論文の存在も興味深い(表-3, No.5)。

表-3 日本観光研究学会の査読付論文一覧

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容						
						A	B	C	D	E	F	
1	1995	近代	東菜温泉(韓国)	一次史料	空間構造	●						
2	2000	近代	全国26ヶ所の温泉地	新聞・旅行雑誌	ブーム		●					
3	2003	現代	関東近県159の日帰り温泉施設	アンケート調査新聞	ブーム	●	●					
4	2010	近代現代	関東圏の旅館	アンケート調査	情報流通	●						
5	2010	現代	鹿教湯温泉	実験	ストレス低減				●			
6	2011	近世	箱根 草津 有馬における湯治	一次史料	情報流通	●	●					

※補注「研究内容」のA~Fは，表-1の項目と一致する

##### (2) 日本国際観光学会が発行する査読付論文の調査

日本を対象とした論文が2編，海外を対象とした論文が2編の計4編であった。例えば，表-4, No.2は，オーストラリア・ヴィクトリア州におけるスパリゾートの利用実態を把握し，短期旅行者をどのように温泉地へ引き込むかが課題であることを指摘した論文である。

その他に，城崎温泉が持つホスピタリティは，ユニバーサルデザインの導入といったハード面の整備だけではなく，大学と連携したインターンシップや学生イベントの実施により，先の温泉地におけるまちづくりが成功したと結論づけた論文が存在した(表-4, No.3)。

また，表-4, No.1で研究対象となっているドイツにおける温泉地の近代化は，住民主導で行う社会全体の意識改革が伴っていることが述べられていた。

表-4 日本国際観光学会の査読付論文一覧

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容						
						A	B	C	D	E	F	
1	2002	現代	日本・ドイツの温泉地	ヒアリング	制度・施策 空間構造					●		
2	2002	近代現代	オーストラリア ヴィクトリア州	アンケート調査	利用実態					●		
3	2004	現代	兵庫・城崎温泉	アンケート調査 ヒアリング	まちづくり				●	●		
4	2011	現代	全国68ヶ所の温泉地	アンケート調査	制度・施策				●	●		

※補注「研究内容」のA~Fは，表-1の項目と一致する

##### (3) 日本都市計画学会が発行する査読付論文の調査

温泉に関する論文12編のうち，各時代の温泉街における空間構造の発達過程や盛衰史について述べたものが4編掲載されていた(表-5, No.1~, No.3, No.10)。

キーワード 温泉，まちづくり，学協会，既往研究

連絡先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14 日本大学理工学部まちづくり工学科 TEL 03-3259-0482

現代の温泉地におけるまちづくりについて述べられた論文として、住民と観光客の行動がどのように関連し、二者がどのようにまちを共同利用していくかについて迫った論文がみられた(表-5, No.7)。その他に、伝統的温泉街において、温泉情緒をつくり出す景観構成要素の分類と、それらに関連する制度・施策の分析を行ったものもみられた(表-5, No.9)。また、公営日帰り温泉に関しては、開業から2~3年で施設利用者のピークを迎え、その後は施設の老朽化も相まって利用者が減少傾向となる課題が示された(表-5, No.6)。

表-5 日本都市計画学会の査読付論文一覧

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	1989	近世近代	全国6温泉地における長期滞在	一次史料	空間構造	●					●
2	1993	近代現代	全国33ヶ所の温泉地	一次史料	空間構造	●	●				
3	1996	近世	全国21ヶ所の温泉地	一次史料	空間構造		●				
※No.4, No.5の論文は、No.3の論文に対する討議											
6	2004	現代	兵庫県城崎町	アンケート調査	空間構造 まちづくり						●
7	2005	現代	群馬県12ヶ所公営日帰り温泉	アンケート調査	まちづくり						●
8	2006	現代	ドイツバードセッキング	ヒアリング調査 アンケート調査	制度・施策 (都市計画)						●
9	2010	現代	全国69ヶ所の温泉地	アンケート調査 ヒアリング調査	制度・施策 (景観)			●	●		
10	2010	現代	全国93ヶ所の温泉地	ガイドブック 地形図	空間構造		●	●		●	
11	2011	近代現代	全国38地域の温泉地	雑誌	イメージ	●		●			
12	2014	現代	群馬県内・中山間地域の温泉地	アンケート調査	防災						●
※補注「研究内容」のA~Fは、表-1の項目と一致する											

(4) 日本建築学会が発行する査読付論文の調査

表-6, No.2~No.6の論文は、松田法子らにより、主として近世から近代の大分県・別府温泉および静岡県・熱

表-6 日本建築学会の査読付論文一覧

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	2003	近世	石川・山中温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
2	2004	近世~現代	大分・別府温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
3	2004	近世近代	大分・別府温泉	一次史料	空間構造	●					
4	2005	近世近代	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造	●					
5	2005	近代	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
6	2006	近世	静岡・熱海温泉	一次史料	空間構造				●		
7	2007	現代	群馬・水上温泉	現地調査	まちづくり						●
8	2008	現代	全国105ヶ所の温泉街	文献 地形図	空間構造	●	●				
9	2014	近代	兵庫・宝塚新温泉	一次史料	経営方針	●					
10	2015	近世近代	石川・山中温泉	一次史料	空間構造 支配構造	●					
※補注「研究内容」のA~Fは、表-1の項目と一致する											

海温泉における空間構造の変遷を当時の支配構造や旅館の立地から明らかにしている。

表-6, No.7の論文では、群馬県水上温泉の事例が示されている。中心市街地の空き店舗を利用したまちづくり拠点の運営では観光産業以外に従事する住民をいかに巻き込んでいくかが重要であることが述べられている。

(5) 日本造園学会が発行する査読付論文の調査

あるまちの行動形態や施設等の利用実態等に着目した論文はみられず、現状の制度や施策を把握し、それらを評価する論文が存在した(表-7, No.3, 6, 8, 11)。他の学協会と同様、温泉地における空間構造の変遷に迫ったものが最も多くみられた(表-7, No.1, 2, 5, 7, 9)。

表-7 日本造園学会の査読付論文一覧

No	掲載年	時代	研究対象地	研究方法	研究分野	研究内容					
						A	B	C	D	E	F
1	1989	近世近代	静岡・熱海温泉 群馬・草津温泉	一次史料・絵図 ヒアリング調査	空間構造	●					
2	1991	近代	全国31ヶ所の温泉地	ガイドブック 地形図	空間構造			●			
3	1992	近代	アメリカ ホットスプリングス 国立公園	一次史料	制度・施策 (国立公園)			●			
4	1992	現代	大分県由布市	一次史料	まちづくり	●		●			
5	1993	近世~現代	静岡・熱海温泉 群馬・伊香保温泉	絵図 地形図	空間構造			●			
6	1996	現代	韓国の温泉地	一次史料	制度・施策 まちづくり			●	●		
7	1997	近世近代	全国31ヶ所の温泉地	一次史料・絵図 ヒアリング調査	空間構造			●			
8	1998	現代	山形・銀山温泉	アンケート調査	制度・施策 (景観)						●
9	2001	中世~現代	ドイツ バート・ウェーリス ホーフェン市	ヒアリング調査 一次史料	空間構造						●
10	2002	近代	全国4ヶ所	一次史料	人物・計画史	●					
11	2014	現代	長崎・小浜温泉	一次史料	制度・施策	●					
※補注「研究内容」のA~Fは、表-1の項目と一致する											

4. まとめ

5学協会が発行された過去30年の査読付論文の共通点は、現状の温泉地でのまちづくりについて述べられた論文が少ない傾向にあった。旅館の立地やアクセスの変遷といったハード面に焦点を当てた研究の蓄積はある。一方のソフト面では、現代のまちづくりや観光地経営について、アンケート調査やヒアリングによって課題の洗い出しは行われているものの、その解決手法について言及したものは非常に少ない。今後、まちづくりのビジョン形成が研究活動として求められるテーマになろう。

参考文献

- (1) 日本観光研究学会：機関紙『観光研究』, Vol.6-Vol.26, 1995-2015.
- (2) 日本国際観光学会：『日本国際観光論文集』, 第3号-第22号, 1995-2015.
- (3) 日本都市計画学会：『一般研究論文』, 204巻-45-1巻, 1996-2010.
- (4) 日本都市計画学会：『学術研究発表会論文』, 24号-49-3号, 1995-2014.
- (5) 日本建築学会：『日本建築学会計画系論文集』, 1995-2015.
- (6) 日本造園学会：『造園雑誌』, 『ランドスケープ研究』, 1995-2015.